



オリーブ通信

2013年
5月号
2013.05.18 発行
第139号



<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

☆先生向け入門講座、やってま〜す☆

4月、新しい先生がたくさん入会してくれました。そこで4月下旬から、授業の後に、教え方講座を開いています。

オリーブでは、主に「みんなの日本語」という教科書を使っています。この教科書では、日本の学校の国語で習う文法用語とはちょっと違う、外国人に分かりやすいよう工夫された用語を使っています。初めてこの教科書を見たら、たぶん誰もがびっくりするでしょう。

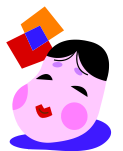
まず、動詞の活用の種類がシンプルです。日本の国語では「五段活用」「上一段活用」「下一段活用」の3つと、例外の「力変」「サ変」の5種類だと習います。でも「みんなの日本語」では、たった3種類です。五段活用は「1グループ」、上一段と下一段は変化のパターンが同じなので一緒にして「2グループ」、例外の力変とサ変も一緒にして「3グループ」です。活用形の名前も「未然、連用、終止、連体…」ではなく、「書かない」は「ない形」、「書いた」は「た形」などというふうに、語尾の形そのままです。もし国語の教科書がこんなに分かりやすかったら、日本の子供も文法用語アレルギーを起こさなくなるでしょうにね。

そして品詞の名前も「形容動詞」などという形容詞だか動詞だか分からない名前は使いません。使うのは主に「名詞」「動詞」「形容詞」の3つだけ。そして、その「形容詞」は「い形容詞」と「な形容詞」に分かれています。え？なんじゃそりゃ？！「い形容詞」は「長い」「面白い」など形容詞のこと、「な形容詞」は「簡単な」「静かな」など形容動詞のことです。これもまた語尾の形そのままです。おもしろいでしょう？

上級の教科書は日本の国語と似ていますが、初級は未知の世界、ワンダーランドです。初級は教えるのが大変ですが、楽しいです。オリーブの生徒の多くは初級です。皆さん、一緒に楽しく日本語を教えましょう！（納谷久美子）



《中川先生のへんてこ日本語 34》 「日本語」コミュニケーション



駅で電車を待っていると、初老の女性が、私の前に立っている女子大生風の女性に「これは新快速ですか」と尋ねた。するとその女子大生（としておく）は、「うん」とうなずいた。初老の女性は「ありがとうございます」と丁寧にお礼を述べ、列の後ろに並んだ。読者諸氏はこれでコミュニケーションが成立したとお考えだろうか。確かにノン・バーバルなコミュニケーションも含めて考えるなら、初老女性の目的（尋ねて返答を得る）は達せられたのであり、コミュニケーションは立派に成立したことになる。しかし「人間のコミュニケーションには言葉が必要である」とする観点からは、コミュニケーションは成立していない。コミュニケーションの形態は時とともに変化する。昔はもともと人に面してのコミュニケーションが多かった。上の場合なら、ただ「新快速かどうかを確かめるだけでなく、自分の行きたいところに停まるか、何分程度かかるか」などの情報が交換されることも稀ではなかっただろう。現在は、情報取得の方法も変化し、わざわざ人に聞かなくてもどこかに表示があるだろうし、スマホで調べられることもできる。スーパーへ行けば、店員さんと言葉を交わさなくても買物ができる。確かに便利な世の中になった。しかしこれではコミュニケーションの楽しみは削がれてしまう。コミュニケーションの楽しみを、「未知の情報を交換すること」と規定するなら、そこには人と人との相互交流が必要である。お年寄りにはコミュニケーションがうまい。情報交換を楽しんでいる感じがする。

日本語教師と日本語学習者には、日本語コミュニケーション上手であってほしい。対人コミュニケーションの楽しみを味わってほしいと願う。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

新しい先生に向けたメッセージ

新入会の皆さんは今、希望と不安でいっぱいですよ。そこで、私たちから応援のメッセージをお届けします。

2009年7月にオリーブ入会后、これまで長短期あわせ10人ほどの生徒さんを教えてきました。私が担当したのは中級レベルで日本語はそこそこ理解し話せる人ばかりでした。生徒の皆さんはあらかじめ目的を持っていらっしやたので、それに応じて授業も行ってきました。難しさを実感したのは生徒さんからの質問です。皆さん、テレビや漫画でも日本語を吸収しようとしています。例えば、『コソ』ってなんですか？『こだわり』ってなんですか？テレビコマーシャルで言っていました。「喜んで…ってどんなときに使うんですか？」某居酒屋で聞いてきたのかと思いきや、漫画の中のセリフに出てきたらしい。最近だと、「ありていに言えば」これは昼間日本語学校に通っている生徒さんの使っているテキストに載っていたもの。日本人でも普段使いませんよね。

まだ短い経験ですが、教える側には説明力が必要だな、ということです。いきなり言葉で説明するのではなく、例文を挙げたり図を書いたり、身振り手振りなどいろいろな手段を使うのが有効ではないかと思えます。

私もまだまだですが、新しく教える立場になられた方も工夫しながらやっていたらとよいと思います。(豊村信良)



初めてオリーブに参加したのが今から約15年位前。その頃は南米の人達が結構多くて、私の担当も日系ブラジル人の姉と弟。日本語を教えるのは全く初めてだったので、図書館に行ったり本屋さんに行ったりして試行錯誤しながら教えていたのを覚えている。しかし土曜の夜ということもあり、彼女たちがブラジルに帰国するのを機にオリーブを脱会した…が、それから経つこと10数年またオリーブに舞い戻ってきました(^J^) 以前は気が付かなかったけれど、オリーブは単に“日本語を外国人に教える場”ではなくてお互いの文化を分かち合いながら人と人の出会いを大切に、そういう場である続けるのがオリーブの存在意義なので、…と私は思うようになった。先に出てきたブラジル人の姉と弟とは今も交流が続いている。今は結婚して



ブラジル&アメリカにそれぞれ住んでいるけれど、数年前には私もアメリカへ彼女たちに会いに出かけた。今では先生と生徒じゃなくお互いの大切な友人として付き合っている。FACE BOOK(FB)が生まれたことで本当に世界は狭くなってきた。隣人であるかのようにメールやチャットができてしまうんだから。SKYPEでは地球の反対側にいる人とも顔を見ながら話しもできるし。オリーブで知り合った人ともその場限りじゃなく細く長く縁を持ち続けて行くことも可能にしてくれる。世界のあちこちに友達がいるなんて素晴らしいことじゃないですか。オリーブはそれを可能にしてくれますよ、あなた次第で!(^^)!(重松観子)

二年半、郵便局でパート職員として働いておりました。内二年コンシェルジュをしていました。お客様の相談やご依頼にお答えするのが仕事です。お年をめした方や、時々外国の方がみえて相談や手続きのお手伝いをします。お礼を言われて、お役にたっていることを感じ、よかったと思う日々でした。

外国の方には、日本語の少し話せる方、全然話せない方がおられました。全然話せない方との対応は身振り手振りで大変でした。そんな経緯もありオリーブに入会しました。日本語以外(少し英語が解かるかな?)何も話せない私ですが、もっともっと外国の方に接したいという気持ちが働き、日本語を指導することになりました。この四月で丸三年になり教えることにも少しなれました。日本語指導をすることであらためて日本語をすることもあり自分の勉強にもなっております。日本語以外に日本の行事や習慣、しきたりなども教えてあげたいと思っております。

一生懸命な態度と、気さくで愉快的な人たちばかりで楽しいです。なにより、若いパワーを貰っているのは私の方です。これからもいろんなことを教えてもらいながら楽しくやっていきたいと思えます。(中西利夫)





Min Svenska Dagbok

～みほのスウェーデン日記～ #4 Kiruna:キルナ



アイスホテル

Hejhej !

今日はスウェーデンのニュースでも以前から話題になっている【Kiruna(キルナ)】を紹介します。ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、ここは世界有数の鉄鉱山のある街として有名な場所です。(ここから 10km ほどのところにアイスホテル(名前の通り、すべてが氷でできたホテル)もあります。)

何とこの街、1900 年に鉱山発掘のために【人為的に造られた街】なのだそうです。あらかじめ都市計画をしっかり定め、鉄鉱石を発掘するために作られた街なので、例えば冬の寒さをしのぐために気温が比較的高い丘の上に中心街があったり、道路が風除けの役割を果たすように配置されていたりと色々工夫されているらしいです。



キルナの街のようす

現在、キルナの人口は 2 万人弱で、この街はスウェーデンでも最北端に位置し、フィンランドやノルウェーの国境とも接している世界で一番面積が大きな市だそうです。

ちなみに私の住む街には、《Atrax Copco》という、高山発掘のための大きなドリル等を作っている有名な会社があり、もちろんキルナや中国など世界中に商品を輸出している、エレブルー市を支えるとても有名な会社(らしい)です。

話がそれてしまいましたが、そんな人工的に造られた街:キルナが、これからお引っ越しをするそうです！そのお引っ越しというのがなんと街全体のお引っ越しだそうです、かなり大規模なものなのです。

「街全体のお引っ越しってどういうこと!？」と、私も初めて聞いた時はびっくりしたのですが、なんでもこのまま鉱山を掘り進めていくと、掘削洞が街まで達し、地盤がゆるみとても危険な状態になるそうです。

キルナに住む人たちは、「住み慣れたこの街を離れたくないけれど、この鉱山のおかげで仕事を心得生活しているのだから、いたしかたない・・・」と、ちょっと複雑な心境なんだとか。

もちろん街全体の引っ越しなので、家から駅から病院から何から何まで移動もしくは建て直さなければならないので、相当な時間と労力を要します。

また、場所も問題だそうで、また何十年かしてこういう問題が出てきては困るから、今より遠いところに街を造った方がいいという意見や、遠くなればなるほどそこで働く市民にとっては不便になるし、引っ越し作業にも何年もかかってしまうからそれは難しいだろうという意見・・・など、色々な意見があったそうですが、結局東に 3km 行ったところに新しい街を造ることに決まったそうです。スウェーデンの建物はほとんど地下室があるので、アメリカのように家一軒まるごとお引っ越しというわけにもいかず、ほとんど壊されてまた新しく立て直すのだそうですが、キルナ教会、ヤルマル・ルンドボン(キルナをつくったといわれている人)のお墓など、一部ですがそのまま新しい街に移動するものもあるそうです。



キルナ教会

私たちには想像できないほど大変な作業ですが、その労力をかけてでも、キルナ、そしてスウェーデンにとってこの鉱山は大切なもので、この鉱山あってのスウェーデンといっても過言ではないのだとか。

これから何年もかけて行われるこの街のお引っ越しがどうなるのか、気になるところです。

(新海美帆)



先月の活動(4月)

日本語教室 4/6(M)、13、20(3回)
 初めて教える日本語講座 4/13・20授業後(恩地)
 KIFA理事会4/13(土)(恩地)
 KIFA総会 4/20(土)(恩地)
 まちセン運営協議会 全体会 4/18(木) (田中一、恩地)
 BNN会議 なし



今月の活動予定(5月)

日本語教室 5/4、11、18、25(4回)
 オリーブ総会&懇親会 5/18(土)
 まちセン運営協議会 施設部会 5/16(木) (田中一)
 BNN会議 5/19(日) (納谷)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略

✿「にほんご滋賀」からのお知らせ✿ 2013年度「日本語教育能力検定試験」受検対策講座

「日本語教育能力検定試験」は「日本語教師」を目指して「日本語教育」について勉強を進めている人、すでに「日本語教師」として日本語教育に携わっている人などを対象として、「日本語・日本語教育に関する知識および能力」が、日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定することを目的とした試験です。「財団法人日本国際教育支援協会」によって行われています。また「日本語教育学会」からも認定されています。

「にほんご滋賀」では、昨年度に引き続き「日本語教育能力検定試験 受検対策講座」を実施致します。幅広い出題範囲に対応するために、「にほんご滋賀」の講師会員が全5回にわたって、初めての方も分かりやすく解説致します。日本語教師を希望していらっしゃる方はもちろん、日本語ボランティアとして日本語教育に携わっていらっしゃる方も「日本語に関する知識」と「日本語の指導力」向上のためにぜひご参加ください。

【開講日時】

第1回 7/13 文法 段林
 第2回 8/10 教授法 富川
 第3回 9/14 文法 段林
 第4回 12/14 音声 川村・富川
 第5回 1/11 言語学 段林
 第6回 2/8 記述式 富川

【会場】大学サテライトプラザ彦根

(JR彦根駅前「アルプラザ彦根」6階)

【講師】川村聖子 段林ひろみ 富川和代

【受講料】6回分(18,000円) (資料代を含みます)

【お申込み・お問い合わせ】6回すべてを受講できるようにしてください。

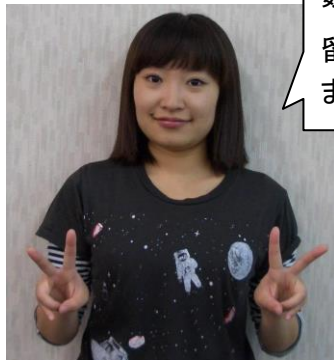
午前:「にほんご滋賀」副代表 段林ひろみ まで TEL. 080-3100-4551

夜間:「にほんご滋賀」代表 富川和代 まで TEL. 0749-23-7833

いずれも土曜日、午前10時~12時 ※2014・3・8(土):「日本語ブラッシュアップ講座」&交流会(参加費500円)



★会員の動き★



ぎび
魏薇さん (5/4入会)

留学生ですが、語学の学生として勉強中の苦勞が分かり
ますし、ミスを起こしやすいところもちゃんと分かります。



先生の出席者数

4/16...17人

4/13...19人

4/20...20人

5/4...12人

5/11...14人

どいまさよし
土井真義さん (5/4入会)

語学が大好きで、人とかかわって楽しく話しをするのが
とても好きです。よろしくお願ひします。
一見、こわそうですが?気軽に声をかけて下さい。

すみません、
写真とってません
でした。(納谷)

★編集後記★ 新しい先生への「ひとこと」、ついでに私からも。私は子供のころからずっと字がヘタだったんですが、オリーブに入ったばかりのころ、ひらがなを教えていて、なんと「先生の字は教科書と違う!わからない!」と言われてしまいました。日本人には読める字でも、ひらがな勉強中の人には分からなかったのです。申し訳なく思い、こっそり、字の練習をしました。今では「読みやすい字やね～」と言われるようになりましたが、どんな練習をしたのかというと...「なぞり書き」です。パソコンでひらがなを打ち、灰色で印刷し、それをなぞって書くのです。小学1年生のひらがな練習帳のような感じです。字に自信のない人、試してみてください。(納谷久美子)